

部門	工事写真	工事名	国補 松代西222号線舗装工事
道路部門		工事場所	長野市松代町西寺尾
		施工者	ワールド開発工業株式会社
		工事概要	舗装工 L=311m W=7.8m (平均) 路上再生路盤工 A=2,340㎡ アスファルト舗装工 A=2,340㎡
表彰理由	<p>本工事は舗装長寿命化修繕計画に基づき、路上再生路盤工を伴う舗装工事を実施したものである。工事実施にあたり、受注者より本路線は交通量が多くバス路線であることを考慮し、施工性の向上、通過交通者の安全確保、舗装の品質向上の観点から指定車以外の車両通行止めで施工を行った。これに伴う警察等の関係機関協議や、地元との調整、特に沿線の医療福祉施設及びその駐車場利用者への細やかな配慮を実施したことにより苦情なく工事を完了することが出来た。</p> <p>また、既設舗装版厚が想定と異なったことにより路上再生路盤工の品質低下が予想された際には、必要な調査及び検討を迅速に対応したこと等、工事目的物の品質向上、地域や環境に配慮した施工等、広範囲にわたる公共事業に対する意識の高さが評価された。</p>		

部門	工事写真	工事名	戸隠宮沢線舗装工事
道路部門		工事場所	長野市戸隠豊岡
		施工者	株式会社山倉建設
		工事概要	アスファルト舗装工 L=930m W=7.4m (平均) A=2,340㎡ 路上再生路盤工 A=6,990㎡
表彰理由	<p>本工事は、戸隠宮沢線の老朽化した舗装を路上再生路盤工により修繕したものである。当該路線は、既設構造物の影響により縦横断共に走行性・平坦性の低い線形であったが、詳細な測量に基づく一体的な線形計画の立案や、新技術を搭載した建設機械の活用等により、これを改善した。</p> <p>また、工程上不可避な段差が多数発生したが、すりつけの工夫や高輝度看板の設置、地域への丁寧な説明等により苦情ゼロで施工を完了したことが評価された。</p>		

部門	工事写真	工事名	飯綱高原交流拠点施設等整備工事
建築部門		工事場所	長野市大字上ヶ屋
		施工者	千広建設株式会社
		工事概要	飯綱高原交流拠点施設整備工事 (グロサント棟458.23 m ² 、アケビティ棟457.11 m ² 、他) 飯綱高原キャンプ場周辺整備工事 (既存解体、キャンプ場トイレ改修、他) 飯綱高原第二駐車場整備工事 (駐車場エリア拡張工事、他) 上記に伴う建築工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事一式
		表彰理由	設計から施工、運営まで一貫した民間提案によって整備される交流拠点施設として、現地伐採木利用や地中熱輻射式冷暖房採用等、環境負荷の低減に配慮するとともに、飯綱高原の厳しい気象条件の下、質の高い建築及び設備が実現されている。 職人を始めとする作り手の笑顔を描いた仮囲いアートや親子現場見学とツリーハウス製作体験イベントを通じた公民連携による公共施設整備手法の新しい取り組み及び運営の利便性向上に向けた施工関係の工夫が実施されている点も評価された。

部門	工事写真	工事名	国補 川中島中学校 中校舎大規模改修外建築工事
建築部門		工事場所	長野市川中島町今井
		施工者	株式会社守谷商会
		工事概要	川中島中学校中校舎の大規模改修建築工事 一式 鉄筋コンクリート造、4階建て、延床面積2,056 m ² ・折板屋根葺き替え 684 m ² ・内外装改修、塗装改修、 石綿撤去工事、その他改修工事 一式
表彰理由	施設を使用しつつ建築物内外にわたって大規模に改修する工事であったため、授業等への影響が心配されたが、騒音・振動が大きい撤去作業を昼休みなどの授業時間外に行ったり、作業員と生徒が交錯しないように資材搬入を授業時間中にまとめて行ったりするなど、学校運営に配慮した取り組みを積極的に行った。 設計図書の内容を十分に理解・把握したうえで施工し、工事目的物の品質および出来栄に優れているとともに、しゅん工書類も施工状況が判断できるようわかり易く整備されたことが評価された。		

部門	工事写真	工事名	エムウェーブ 照明器具更新工事
電気設備部門		工事場所	長野市大字北長池
		施工者	旭電気・三恵建設共同企業体
		工事概要	アリーナ照明更新 一式 既存HID 照明撤去462 台、LED 照明新設366 台 調光制御システム設置 一式 照明制御盤、照明制御装置、増幅器盤外 設置
		表彰理由	<p>設計図書の内容を十分理解し、適切な工程管理・品質管理を行い安全に配慮し施工した。コロナ禍に対応した施設運営が行われる中での施工となり、施工条件に大きな制約が生じたが、施設関係者と綿密な協議を重ね、施工方法についても事前によく検討されたため、現場作業期間を大幅に短縮することができた。</p> <p>また、高所や狭い場所等の悪条件下での施工であったが、搬出入や据付方法を工夫し、施工の効率化により時間短縮が実現されたとともに施工品質も良好であったことが評価された。</p>

部門	工事写真	工事名	南長野運動公園 体育館空調設備改修工事
機械設備部門		工事場所	長野市篠ノ井東福寺
		施工者	日本ガス工事株式会社
		工事概要	南長野運動公園体育館アリーナ及び観覧席の換気設備に、冷暖房機能の追加及び換気能力の増強更新を行ったもの。 冷暖房熱源：ガスヒートポンプエアコン（GHP） 換気設備更新：送風機 他一式
		表彰理由	<p>設計図書の内容をよく理解・把握しながら施工しており、品質及び出来栄えに優れているとともに、竣工図書もよく整備されていた。</p> <p>空調操作方法の簡素化の提案、冷暖房の立ち上がりを早めるためのウォームアップ運転の機能追加提案、利用者に違和感のない見栄えと均等な空調吹き出しを両立したダクト形状の提案など、積極的な創意工夫に取り組んだ点が評価された。</p>

部門	工事写真		工事名	国庫災 赤沼公園災害復旧工事
公園部門			工事場所	長野市大字赤沼
			施工者	株式会社昭和ガーデン
			工事概要	公園施設復旧 A=2.0ha (園路広場、遊戯施設、便益施設、運動施設ほか)
			表彰理由	<p>本工事は、令和元年東日本台風による浸水被害を受け、その後、災害廃棄物仮置き場となった都市公園の施設を復旧したものである。</p> <p>直接的被害とともに二次的要因によって喪失した約2haに及ぶ公園機能の復旧は、前例の無い複雑な工事であったが、被災施設の丁寧な点検が実施され、安全性や機能性を勘案した復旧方法の提案により、品質の高い施工が行われた。</p> <p>こうした誠意ある対応によって、被災地における憩いの場の復旧が進められたことが評価された。</p>

部門	工事写真		工事名	国補 篠ノ井中央6号雨水幹線工事
上下水道部門			工事場所	長野市篠ノ井御幣川
			施工者	川中島建設株式会社
			工事概要	水路工（開削工法） L=212m ボックスカルバート 1200×1200 L=117m ボックスカルバート 1400×1400 L= 95m 内径200mm VU 管布設工（開削工法）L= 44m 内径150mm VU 管布設工（開削工法）L= 14m マンホール設置工 4基 取付管工 1式 付帯工 1式
表彰理由	<p>本工事は家が連担する狭隘な市道に、下水道計画に基づくボックスカルバートを布設したものである。</p> <p>施工現場は前述のような条件であり、細心の注意を払いながらの施工を求められた。</p> <p>狭い作業ヤード内で横曳工法を導入するなど施工を工夫し、周辺家屋に影響を及ぼすことなく工事を完成させることができた。</p> <p>また、施工期間が長期にわたり、必要に応じ通行止めを行うなど、施工に際し地域にご不便をおかけしたが、積極的に情報発信を行うなどし、地域から理解と協力を得ながら、円滑に施工を行った。</p> <p>提出書類も適切に整備されており、工事の出来栄も良好であることから、優良工事として評価された。</p>			

部門	工事写真		工事名	夏目N-15ブロック内配水管布設替工事
上下水道部門			工事場所	長野市南千歳二丁目
			施工者	株式会社日拓
			工事概要	配水管布設替工 φ75mmDIP (GX) L=440m φ50mmPP L=62m
表彰理由	<p>中心市街地での工事であるため、資材置き場や現場事務所・工事関係車両の駐車スペースを十分に確保できず、沿線には多種多様な形態の事業所が存在する現場状況であったが、適時適切な交通規制を行いながら、限られた作業時間の中で迅速かつ確実に配管作業を行い、円滑な工事進行によって目立つ苦情無く竣工させた。</p> <p>また、通常局職員が行う仕切弁操作を受注者が代行したことや、QRコードによる配管図管理システムの採用、高校生の現場見学機会を設ける等、特別な取り組みが見られたことが評価された。</p>			

部門	工事写真		工事名	国補 末広処理分区下水道管渠更生2工区工事
上下水道部門			工事場所	長野市大字南長野新田町 外
			施工者	株式会社守谷商会
			工事概要	下水道管更生工（自立管） φ250～300mm L=1,695m
表彰理由	<p>本工事は中心市街地の歩行者や車両の通行が多い幹線道路で、沿線には飲食店、宿泊施設が建ち並ぶ条件のもと、老朽化した下水道管を更生工法による改築工事を実施した。</p> <p>施工範囲が広く、同一箇所複数回作業行うものであったが工事工程ごとに工事内容、作業日をわかりやすく記載した案内文を戸別に配布し細かな周知を重ねたことで苦情もなく円滑に工事を進めた。</p> <p>また、周辺で同時期に複数の改築工事が行われたため、安全協議会を設立し、その取りまとめを行い、施工業者間の調整を行うとともに労働災害、公衆災害防止のための資料を準備し、積極的に情報共有を行ったことなど、安全管理に対する取り組みも評価された。</p>			